

二年	国語	Gアップシート	読む4
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★お気に入りの漢詩を読んで、感想を交流しよう

◇国語の授業で漢詩を学んだ鈴木さんの学級では、教科書以外の漢詩も読んで、感想を交流することになりました。そこで鈴木さんは李白の静夜思を読んで感想をまとめることにしました。

静夜思

李白

牀前ル看ラ二月光一 牀前しようぜん月光みを看る

疑フラクハ是地上霜ノカト 疑うたごふらくは是地上これの霜かと

舉ゲテハ頭望ラ二山月一 頭こゝへを挙あげては山月こゝへを望みみ

低レテハ頭思フ二故郷一 頭たを低たれては故郷こゝへを思ふふ

【日本語訳】

寢床の前に月の光がさし込んでいる。
地上に降った霜かと疑ったほどだ。
頭を上げると山に月が出ているのが見える。
頭を下げると故郷のことが思い出される。



李白（七〇一～七六二）

中国盛唐の詩人。唐代だけでなく中国詩歌史上で、同時代に活躍した杜甫とともに、最高の存在とされる。自由奔放で変幻自在な詩風から、杜甫の「詩聖」に対して「詩仙」と称される。伝説によると、船に乗っている時に酒に酔い、水面に映る月を捉えようとして船から落ち、溺死したと言われる。

二年
国語
Gアップシート
読む4

組
番・氏名

★お気に入りの漢詩を読んで、感想を交流しよう

問一 詩中の「疑是地上霜」という表現は、この詩の情景についてのイメージを作っています。どのようなイメージか、次のア～オから一つ選びなさい。

【描写の効果を考えて内容を理解する】

- ア あたり一面に霜が降りて美しく輝いている情景
- イ 霜が降りるかと思うほど空気が冷たい情景
- ウ 霜が降りたように地面がかくれている情景
- エ あたりが霜のような白い光に包まれている情景
- オ 地上から霜が生まれてきたかのような情景

問二 鈴木さんはこの詩の構成について、次のように感想をまとめました。空欄①～⑦に入る言葉を後の語群から選んで書きなさい。

【構成や展開について考えをまとめる】

この詩は(①)と(②)の間で分かれていると思います。前半部分はこの詩の詠まれた(③)について書かれており、(④)を読み手にイメージさせます。後半部分は作者の(⑤)について書かれており、月を見ていてもうなだれてしまうほどの、(⑥)を思う(⑦)が表現されています。この構成によって、この詩に込められた作者の気持ちが流れるように読み手に伝わってくる感じました。

【語群】

起句 承句 転句 結句 悲しさ 静けさ 喜び 楽しさ
 都会 故郷 田舎 家族 明るさ 心情 時間 雪 霜 情景

⑤	①
⑥	②
⑦	③
	④



問三 鈴木さんは承句と結句の表現の効果について次のように意見をまとめました。()に入る最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

【描写や比喩の表現について考えをまとめる】

承句と結句は対句になり、共通の「頭」という字を用いて作者の()を表現しているのではないかと思いました。

- ア 自然に目に映る物を通した感動の強さ
- イ 見える物との距離による空間の広さ
- ウ 上下の目線の変化による心情の変化
- エ 頭の位置の移動による雰囲気の変容



問四 鈴木さんはこの詩を読んでの感想を、自分の経験と照らし合わせて次のようにまとめました。

次のア～オから、この感想について最も適切に述べられているものを一つ選びなさい。

【自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめる】

私はこの詩を読んで、共感する気持ちと素晴らしいと思う気持ちの二つを感じました。共感したのは故郷を思う気持ちです。私は小学校に入る前は宮古市に住んでいて、今そこには祖父と祖母が二人で住んでいます。晴れた夜には空を見上げて、宮古でもこの月は見えているのかなあと考えながら、祖父と祖母のことや、宮古の友達のことを思ったりします。李白も同じように空を見ながら故郷を思い出していたのでしょうか。素晴らしいと感じたのは月の光を霜のようにだと表現したことです。私がかで月を見ている時の気持ちを、会ったこともない李白に見事に言い当てられたようだったので、ものの本質を見つめる詩人の感性や表現力は素晴らしいものだと感じました。

ア 李白の詩について、表現に対する批評を中心に、詩に込めた李白の思いを受け止めながら感想をまとめている。

イ 李白の詩について、序論・本論・結論の三段落構成で、自分の意見を客観的に整理しながら感想をまとめている。

ウ 李白の詩について、自分の主観的な意見を中心に、李白の詩人としての才能も評価しながら感想をまとめている。

エ 李白の詩について、詩の前半部分についての印象を中心に、自分の経験と照らし合わせながら感想をまとめている。

オ 李白の詩について、読んでみて受けた感動と詩の書きぶりについての批評の二つの面から感想をまとめている。

【読む4 お気に入りの漢詩を読んで、感想を交流しよう】

問一 エ 問二 ①承句 ②転句 ③情景 ④静けさ ⑤心情 ⑥故郷 ⑦悲しさ

問三 ウ 問四 オ

解説

問一

詩を読む時には描写されていることをそのままとらえるだけでなく、描写からもたらされるイメージもとらえるようにしましょう。詩は短い形式の文であるため表現の一つ一つに多くの意味を持たせて作られていることが多くあります。描写から風景、気温、音など多様な想像をふくらませると、詩の深い理解につながります。

問二

漢詩は様々なルールをふまえて作られていますので、教科書等を参考にしつかり頭に入れておきましょう。絶句は二句と三句の間で内容が大きく転換することが多いので、読む際に手がかりにしましょう。

問三

詩は短い文章にテーマを込めるために、間接的な表現を盛り込むように工夫されています。文章そのままとらえるだけでなく、間接的に何を表現しているのかまで考えながら読むようにしましょう。

問四

感想をまとめる時には、自分の経験と結びつけて考えることでより深い感想を持つことができますようになります。作者が作品に込めたテーマをふまえ、そのテーマに重なる経験が自分にはないか考えてみましょう。